

BELIEVE

2026
春号
VOL.96



チェスキークロムロフ 藤橋 貴之 (エイブルアート・カンパニー所属 <https://ableartcom.jp>)

就任のご挨拶

安心、喜び、希望の医療 大阪赤十字病院 院長 羽渕 友則

特集 「外来・入院患者アンケート調査」結果報告

シリーズ 情熱の白衣 医師の素顔⑨／看護師レポート

耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長 濱口 清海 KIYOMI HAMAGUCHI／看護係長 白井 亜耶

食だより〈春〉台湾まぜそば風ごはん／ゆめおりホール／がん診療センターからのご案内／
かかりつけ医をもちましょう／第15回 親子で学ぶ防災セミナー 災害／Topics Box ニュース&イベント



日本医療機能評価機構
認定第 JC885 号



安心、喜び、希望の医療

大阪赤十字病院 院長 羽瀧 友則



このたび、4月1日付で大阪赤十字病院院長を拝命いたしました羽瀧友則です。前院長・坂井義治先生の後任として、微力ではございますが、患者さんやご家族の皆さまに「この病院で診てもらってよかった」と心から感じていただける病院づくりに全力で取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

はじめに、簡単に自己紹介をさせていただきます。私は京都市生まれで、昭和61年（1986年）に京都大学医学部を卒業後、泌尿器科の道に進みました。静岡県の島田市民病院での勤務を経て、平成3年（1991年）に京都大学へ戻り、平成6年（1994年）からは英国にて3年間、膀胱がんの研究に従事いたしました。平成13年（2001年）に京都大学助教授、平成15年（2003年）からは秋田大学医学部泌尿器科教授として22年半務めました。その間、平成26年（2014年）から5年間は秋田

大学附属病院院長を、令和4年（2022年）からは4年間、秋田大学医学部長を兼任いたしました。

秋田県は少子高齢化と人口減少が全国でも特に進んでいる地域であり、広い医療圏を限られた医療資源で支えるという厳しい環境にありました。その中で秋田大学附属病院は、地域医療を守るといふ重要な使命を果たしながら、同時に先進的な医療を推進する役割も担ってまいりました。

大阪赤十字病院のある大阪市の医療環境は秋田とは大きく異なりますが、大都市においても高齢化は着実に進み、医療や福祉に関するさまざまな課題が山積しています。そのような中、遠く北東北におりましても、大阪赤十字病院の素晴らしい評判や活気ある取り組み、模範となる医療活動について耳にする機会がありました。大阪の皆さまの健康を守り、地域医療を支えながら、先進的で確かな医療を提供するという当院の使命の重さを、あらためて強く感じております。

100年以上の歴史を有する大阪赤十字病院は、大阪府内でも屈指の規模を誇る病院で、800床を超える病床を有しています。これまで患者さんや地域の皆さまと職員が築いてこられた信頼と伝統は、当院の大きな財産です。一方で、医療を取り巻く環境は大きく変化し、医療技術も日々進歩しています。当院では手術

支援ロボットやハイブリッド手術室などの最新医療機器の整備を進めるとともに、多職種が緊密に連携するチーム医療を推進し、安全で質の高い高度医療の提供に努めております。

これまで当院は、救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院、大阪府地域周産期母子医療センターなど、数多くの公的指定を受け、高度急性期病院としての役割を担ってまいりました。救急医療においては三次救急医療機関として24時間365日体制を整え、「断らない病院」を基本姿勢に掲げて重篤な救急患者さんを受け入れております。令和6年（2024年）度の救急車受け入れ件数は1万1千件を超え、年々増加しております。今後も各専門診療科が一体となり、地域医療の「最後の砦」として、市民の皆さまの命と安心を守り続けてまいります。

また、地域に根ざした高度急性期病院としての役割を果たすためには、近隣の医療機関や開業医の先生方、そして患者さんとの信頼関係をさらに深めていくことが不可欠です。地域との連携を二層強化し、専門性の高い総合病院として、より一層の存在感を発揮してまいりたいと考えております。

私どもが何よりも大切にしているのは、「人道・博愛」の赤十字精神に基づく、「安心・喜び・希望」を届ける、心のかよう高度な医療です。すべての人の尊厳を守る最善の医療を実践し、当院の強みをさらに伸ばしながら、赤十字病院としての使命を果たしてまいります。

地域の皆さまに、これからも「この病院で診てもらってよかった」と心から感じていただける病院であり続けられるよう、職員一同力を尽くしてまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

Tomonori Habuchi

profile 1986 京都大学医学部医学科卒業
1986 京都大学医学部附属病院(研修医)勤務
1988 市立島田市民病院(泌尿器科医員)勤務
1995 京都大学大学院医学研究科博士課程(外科系専攻)所定単位修得
1994 Marie Curie Research Institute(英国)、Postdoctoral Fellow
1997 京都大学医学部泌尿器科学 助手
1998 秋田大学医学部泌尿器科学 助教授
2001 京都大学大学院泌尿器科学 助教授
2003 秋田大学医学部泌尿器科学分野※ 教授
※2009 秋田大学大学院医学系研究科医学専攻腎泌尿器科学講座に改組
2014 秋田大学医学部附属病院 院長
2016 秋田大学副学長を兼任
2022 秋田大学医学部長を兼任

Q 医師を志したきっかけは？

A ありきたりですが、家族、近親者ががんなどで苦しんでいたから。テレビドラマの影響もあったでしょうか…

Q 泌尿器科を選んだ理由は？

A がんの研究や手術、薬、放射線、を駆使してがんの治療ができる科だから。

- モットーは「明日は考えない。今日一日を全力で生きる。」
- 趣味は「ゴルフ、登山、庭いじり」

「外来・入院患者アンケート調査」結果報告

令和7年度患者満足度調査の結果を報告します。たくさんのご協力をいただき、ありがとうございました。

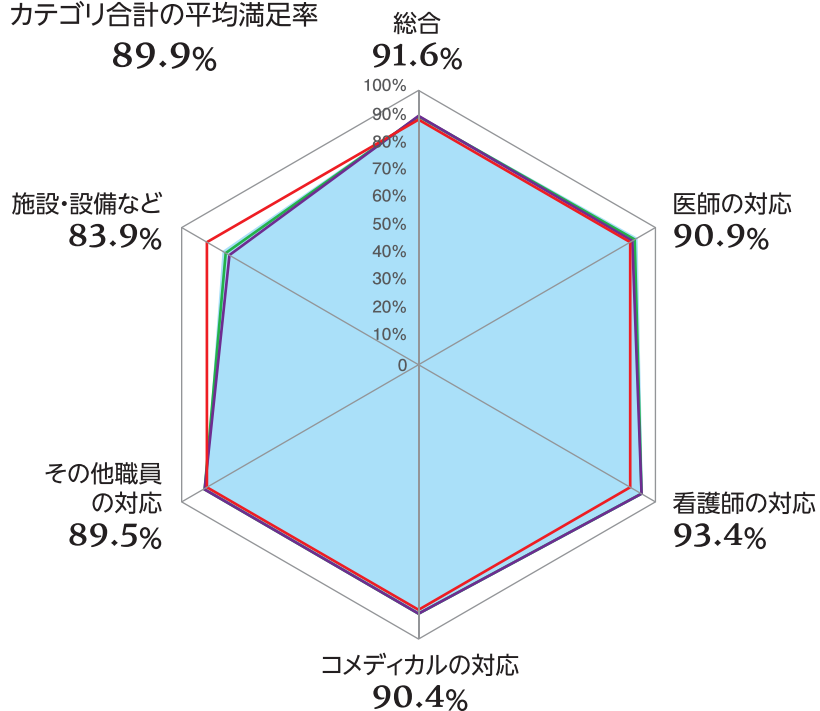
▶実施期間：[外来]令和7年(2025年)12月15日～19日 [入院]令和7年(2025年)12月8日～19日
▶調査方法：アンケート用紙への記入およびWeb回答 ▶回収数：[外来]1000/1000(100%) [入院]391/500(78.2%)

●病院全体の満足率について 各カテゴリ満足率は、各カテゴリの合計に対し「非常に満足」「満足」と答えた回答数の割合を表示しています。

外 来

■病院全体 ■2024年度 ■2023年度 ■平均満足率

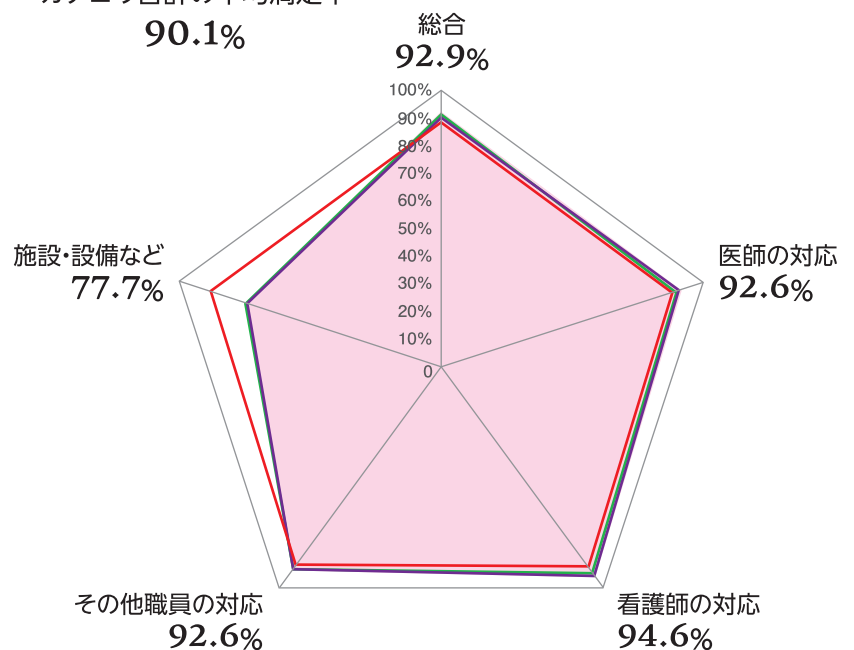
カテゴリ合計の平均満足率
89.9%



入 院

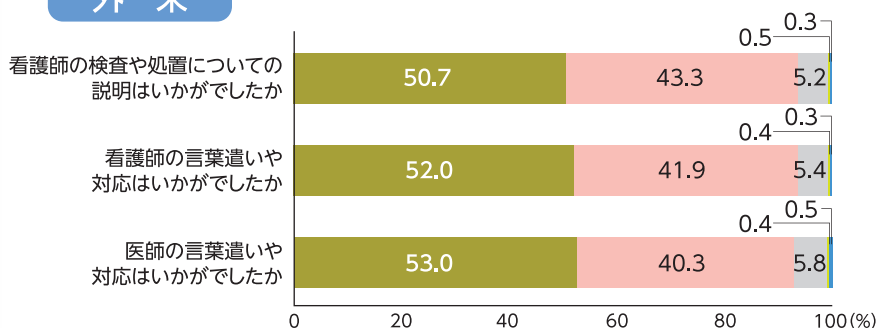
■病院全体 ■2024年度 ■2023年度 ■平均満足率

カテゴリ合計の平均満足率
90.1%

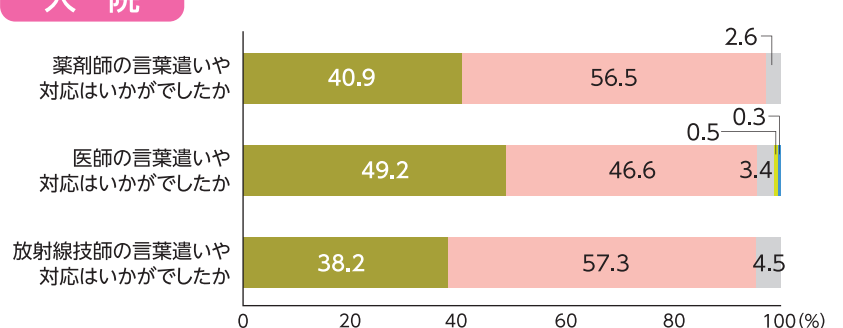


●満足率の上位3つ ■とてもそう思う(非常に満足) ■そう思う(満足) ■どちらともいえない ■そう思わない(やや不満) ■まったくそう思わない(不満)

外 来

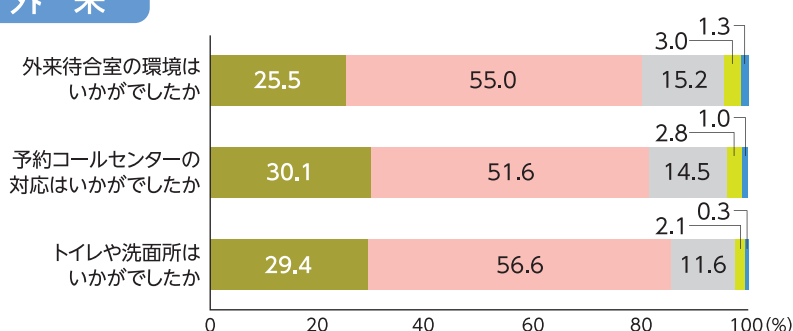


入 院

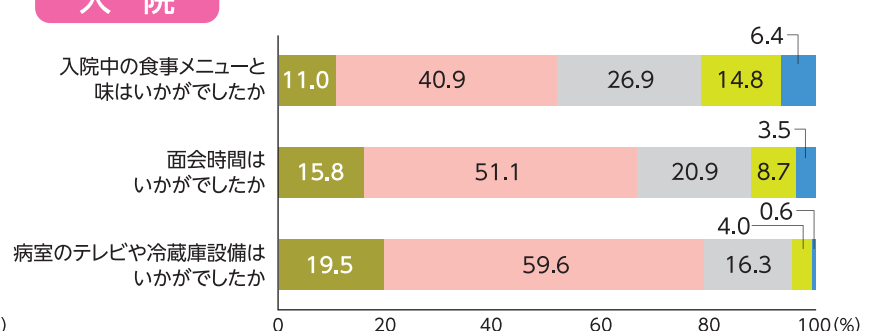


●満足率の下位3つ ■とてもそう思う(非常に満足) ■そう思う(満足) ■どちらともいえない ■そう思わない(やや不満) ■まったくそう思わない(不満)

外 来



入 院



患者満足度調査の結果を受けて

外来・入院ともに総合満足率が90%以上と高評価をいただきました。

外来に関しては全体的に満足率は微減となり、「待合室が不足している」や「トイレが並ぶことが多い」など当院の設備に対するコメントが見受けられました。入院に関しては総合満足率、カテゴリ別満足率ともに90%を超える高い評価をいただきましたが、「食事の内容」や「面会時間の緩和」についてのコメントが見受けられました。その他たくさんのコメントに対して、当院では問題点を調査して改善に努め、患者さんが安心して受診いただける病院をめざしてまいります。



「この病院だから任せられる」という地域の信頼に応えたい

耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長 濱口 清海

●伝達に大事な器官だからこそ わかり合う努力を

「例えば、**がん**などの気づく前に除きたいものもあれば、加齢性難聴のように明らかなでも手出しできないものもある。**症状・病気・治療**の有無や要不要は、いつも一致するとは限らないんです」。二つひとつの言葉を曖昧にしない濱口医師の話は、わかりやすく説得力がある。たとえ、医学を専門とする医師と、基礎も知らない患者さんの「常識」が大きく違っても、その隔たりを根気よく対話で埋めようとするのが、濱口医師のスタイルだ。「耳で聞くとか、口で話すとか、コミュニケーションに直結するのが耳鼻咽喉科」。

だからこそ、患者さんとの意思疎通には気をつけています」。

医師を志したのは中学時代。医学部志望の友人が周りに多く、気づけば自分も同じ道をめざしていた。やがて大学で専門的に学び始めると、持ち前の好奇心が刺激され、とりわけ複雑な脳神経に興味を持つように。それらを直接的に扱いたくて選んだのが、この科だった。「脳に12対ある神経のうち、半分以上が嗅覚や味覚など耳鼻咽喉科に関わるもの。特に私はがん専門医となつたので、手術などで大半の神経を扱ってきました」。そんな濱口医師の探究心は、神経だけにとどまらない。若手の頃に勤めた病院で、透析患者



さんの難聴について関心を深め、母校の大学院で難聴のメカニズムを研究することに。また、めまいに関しても専門医としての資格を取得している。「さまざまな症状に悩む患者さんに応えるためには、その原因となりうる多様な病気について知る必要がありますから」。その果てしない道のりを、「昔から、いろんな知識を身につけるのが好きなので」と笑って歩み続ける濱口

医師。満を持して当院の耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長に就任したのは、昨年の春だった。



休日は自宅でゆっくり。雪の日に娘が作ってくれたシマエナガです。

●手術の大阪赤十字病院に ふさわしい体制を

「僕が臨床医になりたての頃から、この分野では手術の大阪赤十字病院と呼ばれるほど、地域の医療機関に頼られていましたね」と、当時を振り返る濱口医師。自らがその科を率いる立場となつた今、長年の信頼に応えるためにも、各分野に精通したスタッフの充実に努めたいと話す。実は、複雑かつ命に関わる頭頸部の手術は、長時間に及ぶことが多い。「それなのに人手が不足すると、患者さんの受け入れにも影響が出てしまいます。だからこそ、優秀な人員を確保する一方、副部長が得意とする内視鏡を使った、短時間・低侵襲の手術にも力を入れていけたら」という濱口医師。多くの患者さんと向き合い、さまざまな症例を手がけて積み重ねたその経験と知識で、手術はもちろん治療の大阪赤十字病院として、新たな歴史を築いていく。

大阪府出身。平成13年(2001年)京都大学医学部卒業。田附興風会北野病院などの耳鼻咽喉科で臨床医を務めた後、京都大学大学院医学研究科に進学。静岡市立静岡病院や神戸市立医療センター中央市民病院の耳鼻咽喉科・頭頸部外科、京都大学大学院医学研究科の特定講師を経て、令和7年(2025年)より大阪赤十字病院に着任。

看護師レポート 96 AYA SHIRAI

大阪府出身。平成13年(2001年)大阪赤十字看護専門学校を卒業して大阪赤十字病院に入職。外科病棟、救急外来や中央手術室などを担当し、平成31年(2019年)に看護係長へ。2度の産休・育休を経て、現在は看護係長として耳鼻咽喉科・頭頸部外科を担当。



看護係長 白井 亜耶

目には見えない看護の心まで、 患者さんから教わりました

若手時代の自分は、絵に描いたような「困った新人」でした。落ち着きがなく失敗の多かった私を、根気強く育ててくださった看護学校の恩師や職場の先輩方には感謝しかありません。それでも落ち込んでしまうとき、いつも私を救ってくれたのが患者さん方。「あなたの笑顔で元気がでるわ」などの温かい言葉に、「こんな私でもいる意味がある」と勇気づけられました。病棟、救急、手術室、外来など、担当部署が変わり業務を覚え直す際も、患者さんを見つめることで「ここで何が求められているか」を教わることで

できます。そのなかで特に大切だと感じたのは、「大丈夫」とおっしゃる患者さんが本当にそうなのか、苦痛を予測して、寄り添い、確かめること。「実は、こんな悩みがある」と打ち明けていただき、よりよい対応ができたときは、「確かめてよかった」と実感します。特に、今担当する耳鼻咽喉科・頭頸部外科は、聞くことや話すことに不便のある患者さんが多いので、自分が耳となり、声となつて、医師との仲介ができるように努めています。

かつての「困った新人」が、気づけばチームを率いる身となり、人を指導する悩みも抱えるようになりました。けれど、患者さんと同じようにスタッフにも心を配り、「その人らしい」当院の看護をめざしたい。「本当に大切なものは目に見えない」。子どもの頃に読んだ『星の王子さま』の二説が、患者さんの声と重なり、今も私の心を励ましてくれています。



休日は娘たちとの時間を大切に。母としての働き方も先輩方から学びました。



食だより

◆ 栄養管理課 管理栄養士 上田 真未

春 台湾まぜそば風ごはん

ニラの旬は3〜5月の春です。旬に収穫された

ニラは、他の時期に収穫されたものに比べて香り

が強く感じられます。この香りは、「アリシン」という物質で、切る・

潰す・加熱するなどの調理をすることによって、「アリイン」という物

質が分解されることで作り出されます。ニラがスタミナ野菜とし

て名高いのはこの物質が含まれているからです。

ビタミンB1は、糖の代謝を促し、体を動かすエネルギーを作り出す際に不可欠な栄養素のひとつです。そのため、ビタミンB1が不足すると疲れやすくなるなどの症状が出てきます。

「アリシン」は、ビタミンB1と結びつくことで、体内に長く留まらせ、疲労回復の効果・効能を持続させることができるとされています。

「アリシン」は加熱に弱い物質ですが、油と一緒に調理すると、分解されにくくなります。今回は、ビタミンB1を多く含む豚肉とニラ、油を使用したレシピを紹介します。ぜひお試しください。



※写真は1人分

材料(2人分)

ニラ	30g
白ネギ(青ネギでも可)	30g
ニンニク	2かけ
かつおぶし	2g
豚ひき肉	200g
ごはん	200g
刻み海苔	5g
卵黄	2個
オイスターソース	大さじ1
酒	大さじ1
砂糖	大さじ1
濃口醤油	小さじ1
豆板醤	小さじ1
鶏ガラスープの素	小さじ1/2
ゴマ油	小さじ1

作り方

- 1 ニラは5mm幅に切る。白ネギは小口切りにする。ニンニクはみじん切りにする。
- 2 耐熱皿にかつおぶしをのせて、電子レンジ600Wで1分間加熱する。取り出して、細かく砕き、粉状にする。
- 3 フライパンにゴマ油を引き、ニンニクを入れて炒める。ニンニクの香りがしてきたら、豚ひき肉を入れ、中火で炒める。豚ひき肉の色が変わってきたら☆を加え、汁気が少なくなるまで炒める。
- 4 器にごはんを盛り、1、3、刻み海苔、卵黄をのせる。2を好みに合わせて振りかけて完成。

■栄養成分(1人分)

エネルギー	554kcal
たんぱく質	27.0g
脂質	31.7g
炭水化物	47.9g
食塩相当量	2.1g



▲緑が多く安らぎの空間となりました。

大阪赤十字病院は、明治42年(1909年)の開院以来、時代とともに変化する医療ニーズに応えながら地域医療に貢献してまいりました。このたび、来院される皆さまにより心地よくお過ごしただけよう、エントランスホールを整備し、「ゆめおりホール」と名付けました。

本事業はご寄付により実現しました。「病院らしさ」を抑え、開放感と温かみのある空間とし、木や緑を取り入れて、気持ちが和らぐ場をめざしました。

「ゆめ」には、希望や願い、未来への思いを込めています。治療への前向きな気持ちや回復を願う心が、明日への力につながることを願って

1階エントランスホールを
リニューアルしました!

ゆめおりホール

広報推進室



▲当院の歩みがわかる年表。



▲ホールの空間に調和する西陣織。

います。「おり」には、人と人との思いを紡ぐ意味を託しました。縦糸と横糸が交わって布が織られるように、多様な人が支え合う姿は、赤十字の「クロス」にも通じます。

壁面には当院の歩みを紹介する歴史展示パネルを新設しました。緑を基調としたアート作品も展示、さらに講演会や健康教室などにも活用できる場となっています。生まれ変わったホールが、皆さまに安心とやすらぎをお届けし、ほっと心がほどける場所となれば幸いです。ぜひお立ち寄りください。

がん診療センター からのご案内

腫瘍内科部長
津村 剛彦
血液内科部長 医長
野村 亮介

vol.3

がんと診断されたときから、
どこでも切れ目なく安心して
過ごせるように支援します。

がん相談支援センター

本館2階 患者相談窓口

TEL:06(6774)5152 FAX:06(6774)5126
syakaika@osaka-med.jrc.or.jp

がんゲノム医療

遺伝子を調べ、あなたに合った 治療を探す『がんゲノム医療』

当院は、「がんゲノム医療連携病院」として、京都大学医学部附属病院と連携し、患者さん一人ひとりの病態に応じた「精密医療」を推進しています。

「がんゲノム医療」とは、一度の検査でがん細胞の数十〜数百の遺伝子変化を調べ、その特徴に合わせて最適な治療薬を選ぶ治療です。なお、検査をしても、遺伝子変化や使える治療薬が見つからない場合もあります。

■保険診療で行う検査について

固形がん(胃がん、乳がんなど)、血液がん
以外で体にかたまりを作るがん

検査対象 「原発不明がん」または「標準治療が終了した(見込みの)固形がん」の方で、軽作業ができる体調である方。

検査方法

3年以内に採取した組織や血液から、がんの設計図であるDNAなどを取り出します。一度に多くの遺伝子を調べ、その結果をもとに、患者さん一人ひとりに最も適した治療薬を探します。



遺伝子パネル検査パンフレット
(左)固形がん(右)造血器腫瘍

血液がん

検査対象 白血病や悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの血液がんの方。

検査方法

末梢血や骨髄液などからDNAやRNAを取り出し、多数の血液がん関連遺伝子の異常を網羅的に解析することで、病気の詳しいタイプの診断、治療薬の選択、今後の病状の見通し(予後の判断)に役立ちます。

血液がんの原因となっている遺伝子の異常がより明らかになり、分子標的薬などの適切な治療法の検討や、臨床試験への参加可能性を判断する際の参考情報にもなります。

■検査の流れと費用

検査の流れ

受診を希望される方は、まず主治医にご相談ください。固形がんの場合、腫瘍内科ゲノム外来を受診していただきます。担当医より検査の目的や流れについての説明を受け、同意をいただいた後、検体を提出します。固形がんでは約8週間後、血液がんでは約6週間後、専門家会議での検討を経て、最適な治療法を提案します。治療法の提案に至る可能性は、固形がんでは44%程度、血液がんでは49%程度です。ただし、固形がんでは提案した治療を行った割合は、10%程度です。また、家系に関わる遺伝性腫瘍が見つかる可能性もあります。

検査費用

3割負担の場合、合計で約16万8千円です(令和8年(2026年)4月時点。再診料等を除く)。検査費用には高額療養費制度を利用できる場合があります。

当院では現在、国内で保険適用となつて
いるすべての「がん遺伝子パネル検査」に
応じています。

検査がご自身の
病状に合うかど
うか、まずは主
治医へお気軽に
ご相談ください。

かかりつけ医をもちましょう

病院と診療所がその機能や役割を分担しながら、患者さんに適切な医療を提供することが求められています。自分のことをよく知っていて、ちょっとした病気やケガの診察や相談ができる「かかりつけ医」をもちましょう。

かかりつけ医

日ごろの健康管理
専門的な治療が
必要なら当院へ紹介

紹介

逆紹介

大阪赤十字病院

高度医療・専門医療
症状が安定したら再び
「かかりつけ医」へ



医療法人悠穂会 いまいクリニック耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科

- 院長/今井 隆介
- 住所/大阪市生野区新今里4-7-12 Narutoya BLD.2F
- 電話/06-6751-9191
- 往診/無 訪問診療/無 リハビリ/無
- 診療時間

	外	来	月	火	水	木	金	土
午前	9:00~12:30	○	○	○	△	○	○	
午後	15:30~18:30	○	○	○	△	△	△	

△金曜日の午後は19:00まで
■休診日/木曜日、日曜日、祝日



▲今井院長



【特長】令和7年(2025年)9月にたまき耳鼻咽喉科より移転し、近鉄今里駅前
新たにスタートしました。耳・鼻・のどの一般診療を中心に、お子さまからご高齢
の方まで安心して受診していただける地域密着型のクリニックです。CTなどの最新
機器を用いた診断に加え、花粉症の舌下免疫療法やレーザー治療、CPAP治療も
対応しています。補聴器外来では、補聴器調整、公的補助の案内、購入後のフォ
ローまで一貫したサポートを提供しています。

【地域の皆さまへ】地域の皆さんが、体のことで「少し気になる」「相談してみたい」
と思ったときに、気軽に足を運んでいただける存在でありたいと考えています。
一人ひとりのお話を大切に、分かりやすい説明と丁寧な診療を心がけています。
お子さまからご高齢の方まで、安心して通っていただける身近なクリニックとして、
日々の健康を支え、地域の皆さんに長く寄り添っていきたくと思っています。

医療法人田中小児科医院 たなかキッズクリニック

小児科・小児循環器・アレルギー科

- 院長/田中 智彦
- 住所/大阪市中央区谷町6丁目14-23
- 電話/06-6761-4671
- 往診/有 訪問診療/有
- リハビリ/無
- 診療時間

	外	来	月	火	水	木	金	土
午前	9:30~12:30	○	○	○	○	○	○	
午後	14:00~16:00	△	☆	△	△	△	△	
	16:30~19:30	○	○	○	△	○	△	



▶田中院長



△予防接種・乳児健診
☆小児循環器外来(予約制)
■休診日/木曜日、日曜日、祝日

【特長】小児科全般、予防接種、乳幼児健診に加えて、子どもの循環器疾患の専門
診療を行っています。設備としては、超音波検査(心臓、腹部等)、心電図検査(12
誘導、ホルター、運動負荷)、レントゲン検査(胸部、腹部等)、血液検査(アレルギー
検査等)などが実施可能です。症状によって1階と2階で待合室・診察室を分けて
診療しており、それに加えて2つの隔離室もあり、万全の感染症対策を実施して
います。患者さんやご家族に寄り添った丁寧な診療を行うように心がけています。

【地域の皆さまへ】創業80年以上に渡って、小児科としての診療を続けています。
令和3年(2021年)に先代から引き継いで院長に就任しました。引き継ぐに当たり、
敷地内移転し、内装を大きく変更しました。子どもたちの不安や苦痛を少しでも軽減
できるように、院内を楽しんでもらえるような内装を細部にこだわって設計してい
ます。大阪赤十字病院とも連携を図りながら、ご家族と一緒にお子さまの成長を見守っ
ていく「地域のかかりつけ医」としての役割を引き続き果たしていきたいと思っています。

令和7年(2025年)12月7日(日)実施

第15回親子で学ぶ防災セミナー

Saiiku

災害

を開催しました

大阪赤十字病院では平成22年(2010年)

より、親子で学ぶ防災セミナー「災害」を開催しています。これまではお子さんの夏休み期間である

8月に開催してきましたが、近年の猛暑による熱中症のリスクなどを考慮し、第15回目となる

今年度は初めて12月の第二日曜日に開催しました。

冬の開催は防災イベントや餅つきといった地域の

行事と重なる時期でもあり、当初は参加者が

集まるのか不安もありましたが、当日は小春日

和の穏やかな天候に恵まれ、予約外での参加者も

多数あり、昨年度を上回る多くの方々にご来場

いただきました。

専門機関による体験ブース

「災害」の最大の特徴は、多くの専門機関の

協力によって成り立つ多彩な体験ブースです。

今年度も、地域の安全を守るさまざまな機関に

は、それぞれ趣向を凝らしたプログラムを展開

していただきました。

天王寺消防署のブースでは、地震の激しい揺れ

を実際に体験できる「起震車」が登場し、親子で

地震の揺れの凄まじさが体験できました。また、

消火器の使用体験では、いざというときの操作

手順を確認する子どもたちの姿が見られました。

迫力あるレスキュー車両や青バイが展示されて

いる大阪府天王寺警察署のブースでは、実際に

乗車して写真撮影が行えるなど、子どもたち

に大人気でした。

その他、NHK、大阪ガスネットワーク、自衛隊、天王

寺区役所といった、生活に密着した防災関連機関

による体験型のイベントも行われました。参加い

ただいた皆さまには、いろいろな視点から防災への

理解を深めていただけたのではないかと思います。

当院の体験ブース

当院の職員も、それぞれが専門性を活かした

多くのブースを運営しました。命を守るた

めの「心肺蘇生講習」をはじめ、リアリテイ

あふれる「傷メイク体験」、身近にあるタ

オルや雑誌を活用した「応急手当講座」、

そして感染症対策の基本となる「手洗い

チェック」など、もしものときに役立つ知

識を学べるコーナーを多数用意しまし

た。子どもたちが楽しく遊びながら自

然に学べるような工夫も取り入れられ

ています。

昼食時には実

際の避難所を模

したスペースで、炊

き出しのカレーを

提供しました。非

常時の食事を体験

することは、防災教

育の重要な環です。



災害を終えて

参加者の皆さまは、自由に入退場しながら、すべ

てのブースを回るのに2〜3時間ほどかかる充実

したプログラムを、思い思いのペースで楽しまれてい

たように思います。

会場では、当院職員や近隣大学の学生ボランティア

が運営を支えてくれました。気温が低いこの

時期は、日本赤十字社のキャラクター「ハートラ

ちゃん」や献血キャラクター「けんけつちゃん」といった

マスコットたちも屋外で活動でき、多くの皆さまと

触れあうことができました。

これからも皆さまからいただいたアンケート結

果を反映させ、より楽しく、より充実したイベン

トを開催していきたいと思ひます。今年も12月の

第二日曜日に開催する予定です。ぜひご家族

で遊びにいらしてください。



▲心肺蘇生講習



▲身近な物で応急手当



▲起震車で地震の揺れを体験



▲日本赤十字社の公式キャラクター「ハートラちゃん」と記念撮影



event スプリングコンサートを開催しました



▲森林木管五重奏団

3月7日(土)、当院の定例イベント「スプリングコンサート」を開催しました。今回は三部構成で行われ、第一部では当院腫瘍内科部副部長の島田貴信先生が所属する『森林木管五重奏団』の皆さまにご出演いただき、心に響く素敵な演奏を披露していただきました。

第二部では、日本赤十字社大阪府支部芸能奉仕団のキタノ大地さんによる「マジックショー」が行われ、お子さんから高齢の方まで驚きと感動を届けていただきました。また、遥ゆきさん、あや乃さんによる歌謡ショーでは、懐かしの名曲の数々で会場を大いに盛り上げていただきました。



▲左から、キタノ大地さん、遥ゆきさん、あや乃さん

第三部では、しろながすさん(当院MSW 高橋さん)によるアコースティックギターの弾き語り披露され、心温まる演奏と歌声でイベントの最後を飾っていただきました。



▲しろながすさん

ご来場いただいた皆さま、誠にありがとうございました。次回の定例イベントは「セプテンバーコンサート」を予定しています。ぜひご来場ください。

→ 詳細は当院公式Instagram、LINE等でお知らせします。

event 第9回 大阪赤十字病院 市民公開講座を開催します

脳神経外科の医師、管理栄養士、理学療法士が講演します。

当院では、地域の皆さまの健康づくりを支えるため、定期的に市民公開講座を開催しています。日常生活に役立つ医療情報をわかりやすくお伝えし、疑問にもお答えする機会として毎回好評いただいています。

ぜひ、気軽にご参加ください。

日時 令和8年(2026年)5月23日(土)10:00～
〈受付:9:40～〉

会場 大阪府教育会館 たかつガーデン
(大阪市天王寺区東高津町7-11)

演題 脳卒中ってどんな病気?
～みんなで学ぼう、予防と治療の最前線～
脳神経外科主任部長 橋本 憲司
リハビリテーション科部 理学療法士
栄養管理課 管理栄養士

【お申し込み】右記のQRコードを読み取り、
Googleフォームにてお申し込みください。
※定員になり次第受付を終了します。あらかじめご了承ください。



NEWS 患者情報室で図書の貸出を行っています

当院の患者情報室では、図書、リーフレット、医療用ウィッグなどを展示しています。また、図書の貸出も行っています。がんに関する一般的な知識、病気との向き合い方、治療中の食事の工夫等の図書を揃えています。がんの情報を知りたいとき、外来診察の待ち時間や入院中の時間を有効に使われたいときなどにご活用ください。がん患者さんだけでなく、当院に通院中・入院中の方はどなたでもご利用いただけます。



がん相談支援センター 患者相談窓口



図書の貸出・返却には手続きが必要です。貸出期間は2週間、貸出冊数は3冊以内となります。貸出を希望される方は、がん相談支援センター窓口にてお声がけください。

図書の貸出受付場所

本館2階 がん相談支援センター(1番窓口付近)

図書の貸出手続き時間

月～金 8:30～16:00 (祝日・年末年始は除く)

※ボランティア会による図書の貸出とは別になります。
借りられた所へ返却をお願いします。

NEWS 当院公式Instagramでは、看護部の取り組みや魅力を発信しています。



ぜひ、いいね・フォローをお願いします。

大阪赤十字病院の理念

わたしたちは
人道・博愛の赤十字精神に基づき
すべての人の尊厳をまもり
心のかよう高度の医療をめざします

患者さんの権利

1. 一人の人間として、人権をまもられる権利があります
2. 良質かつ適切な医療を、公平に受ける権利があります
3. 医療についての情報や治療上の説明を受ける権利があります
4. 自分自身の治療について、医療行為を選択する権利があります
5. プライバシーがまもられ、個人情報保護される権利があります
6. 自己の診療録等の医療情報の開示を求める権利があります
7. 他施設の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります



随時配信信中!



病院のご案内

■受付時間(月～金)〈診療開始は午前8:45からです〉

初診/月曜日～金曜日 8:30～11:30 再診/月曜日～金曜日 8:00～11:45

■休診日 土・日・祝・5月1日(本社創立記念日)・12月29日～1月3日

■診察券 診察券は全科共通で使用いたしますので、ご来院時には必ずお持ちください。

■ご面会 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、一部を制限しています。

■保険証等 保険証、医療証等は月に1度窓口で確認させていただきます。また、変更・更新の際は必ずご提出ください。



当院は
敷地内全面
禁煙です
ご理解とご協力をお願いいたします。

大阪赤十字病院

大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-30 令和8年4月発行

■お問い合わせ TEL:06-6774-5111 (代表)

大阪赤十字病院 <https://www.osaka-med.jrc.or.jp>

赤十字全般 <https://www.jrc.or.jp>